



山口県内の経済情勢

令和 7 年 1 月 30 日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 石田

TEL：(083)922-2190(代)

HP 掲載先：

[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)



調査結果は、こちらからも
確認できます。

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→

（注）7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
----	-------------	------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→

設備投資	6年度は前年度を上回る見込み	6年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	6年度は減益見込み	6年度は減益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅は拡大	「上昇」超に転じる	→
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	→
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

ドラッグストア販売、百貨店・スーパー販売、コンビニエンスストア販売は飲食料品などが堅調であることから、前年を上回っている。

ホームセンター販売は園芸・エクステリア商品、家電大型専門店販売はパソコンなどが低調であることから、前年を下回っている。

また、乗用車販売は軽乗用車などが低調であることから、前年を下回っている。

(主なヒアリング結果)

- 新米が出回り始めてからもお米の価格高騰が続いているが、今もなおよく売れている。また、11月下旬から寒くなり入浴剤や保湿クリームなどが好調。加えて、インフルエンザやコロナが流行しているのでアルコール消毒液やマスクなどの売上もよい。(ドラッグストア)
- 11月下旬から寒い日が続いており鍋物食材が好調であるほか、引き続き時短ニーズの高まりから総菜や冷凍食品の売上も伸びている。また、クリスマスケーキやチキン、おせちなども好調であった。さらに、年末年始が大型連休であり、帰省などで家族が大勢で集まる機会が増えたことで、寿司やカニ、オードブルなども好調であった。(スーパー)
- クリスマスにチキンがよく売れたほか、新商品や値引きなどによりカウンターフードの売上がよい。また冬季限定のチョコレートデザートなどもよく売れている。(コンビニエンスストア)
- 11月中旬までは例年になく暖かい日が続いていたことから、冬の苗ものや苗木が売れなかったほか、こたつや電気毛布も低調であった。12月に入りようやく例年並みの売上になってきている。(ホームセンター)
- パソコンは、コロナ禍の巣ごもり需要の反動により低調な状況が続いており、2025年10月のWindows10サポート終了による買い替え需要もまだみられていない。(家電大型専門店)
- 一部の自動車メーカーが生産を停止した影響を受け、軽乗用車などの販売台数が減少している。(自動車販売店)
- 旺盛な旅行需要が続いており、特に年末年始は大型連休ということもあってツアーの予約が好調で、海外旅行はヨーロッパなど、国内旅行は東京や大阪が人気となっている。(旅行代理店)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

汎用・生産用・業務用機械は産業用ロボットなど、鉄鋼は半導体製造装置向けなどが堅調であることから、増加している。

輸送機械はSUV車種に対する需要は堅調であるものの、新型車効果の一巡などから、概ね横ばいとなっている。

化学は医薬品の減少に加え、プラスチックの原料となる基礎化学品の需要が低調なことから、減少している。

- 物流業界の人手不足問題への対応策として、商品の運搬などを行う物流ロボットに対する需要が高まっていることから、生産量が増加している。(生産用機械)
- 半導体市況が底をうち回復の兆しがあることを受け、半導体製造装置向けの需要が堅調なことから、生産量が増えている。(鉄鋼)
- 国内外でSUV車種に対する需要が堅調なもの、車種によっては新型車効果が一巡し生産量が減少している。(輸送機械)
- 大型の定期修理が行われたほか、建設需要の低迷によりプラスチックの原料となる基礎化学品の需要が低調なことから生産量が減少している。(化学)

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、全国平均を上回り引き続き高めに推移している。

新規求人数は、卸売・小売業などで減少しており、前年を下回っている。

- アルバイト・パートを募集するものの必要な人数を集めることが出来ないため、単発で短時間働くスポットワーカーを活用して人手不足を補っている。(小売)
- セルフレジや配膳型ロボットの導入など省人化を進めることで、人手不足の解消に取り組んでいる事業所がある。(公的機関)

■ 設備投資 「6年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 製造業は、情報通信機械などで減少するものの、化学、電気機械などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業は、鉱業・採石などで増加するものの、宿泊・飲食サービス、小売などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- カーボンニュートラルの実現に向けて関連設備を新設するなどの設備投資を進めている。(化学)
- 前年度は旅館の大規模リニューアル工事を行ったことから多額の設備投資となったものの、今年度は設備の維持更新が中心となるため、前年度と比較すると設備投資が減少している。(宿泊)

■ 企業収益 「6年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 製造業は、パルプ・紙などで増益となるものの、電気機械、金属製品などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、宿泊・飲食サービスなどで増益となるものの、建設、その他のサービスなどで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じる」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数は、分譲住宅、持家が增加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出 (円ベース) は、一般機械、自動車などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中東などで増加している。
なお、輸入 (円ベース) は、原油及び粗油、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東、北米などで減少している。

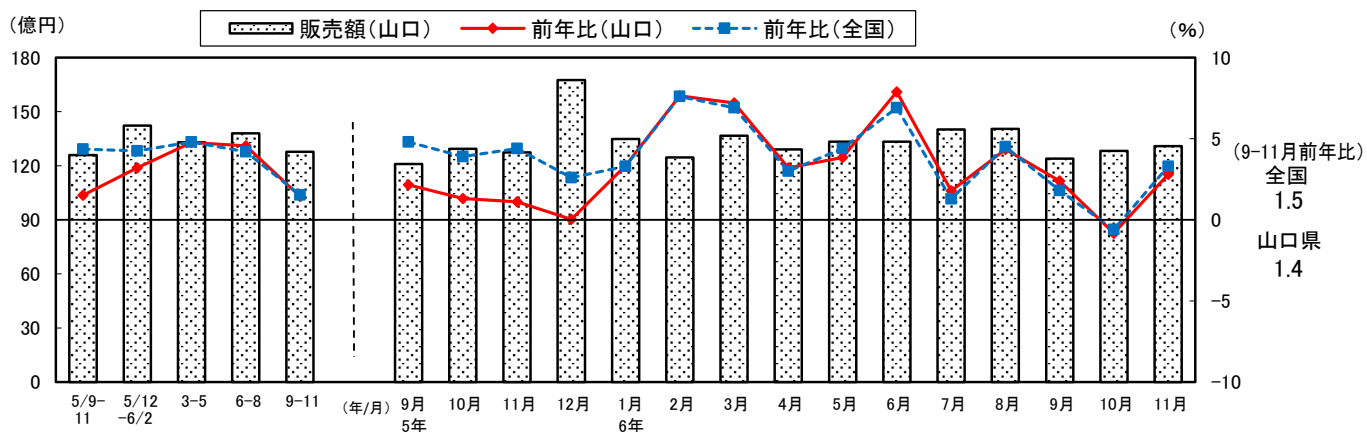
資料編

目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 輸 出	7

1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

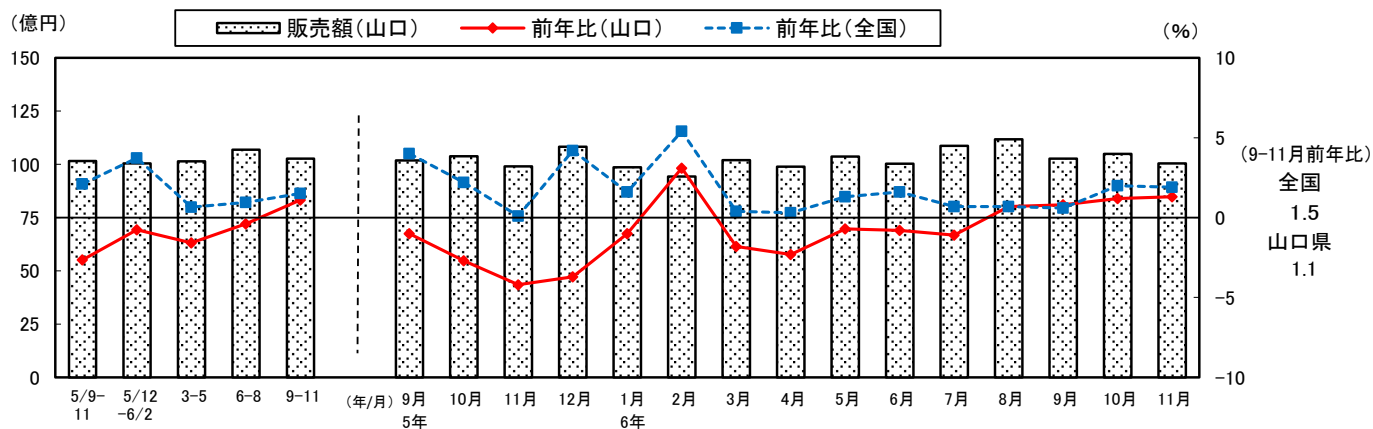
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示。



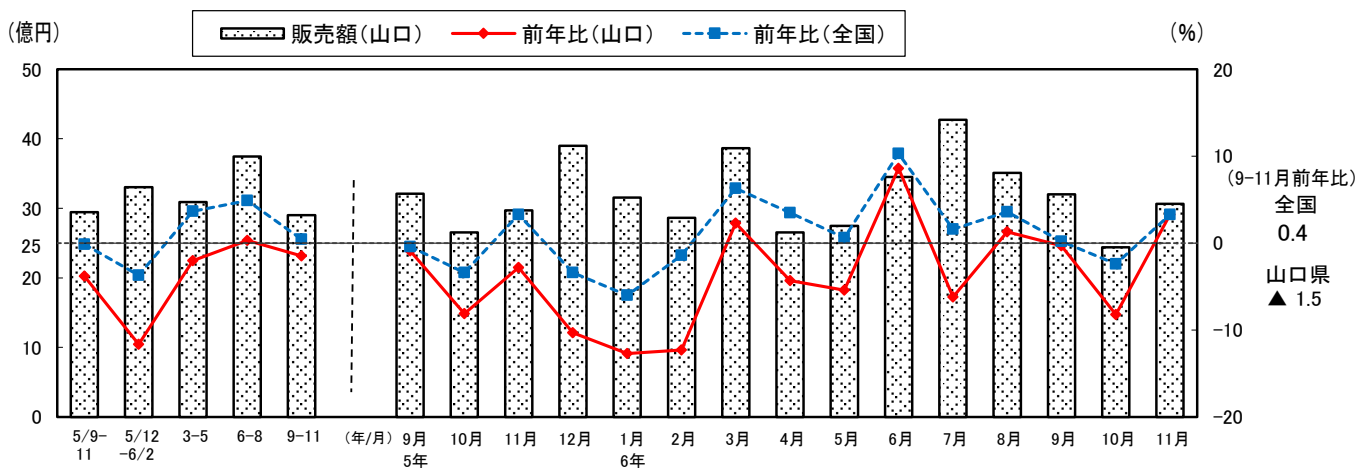
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



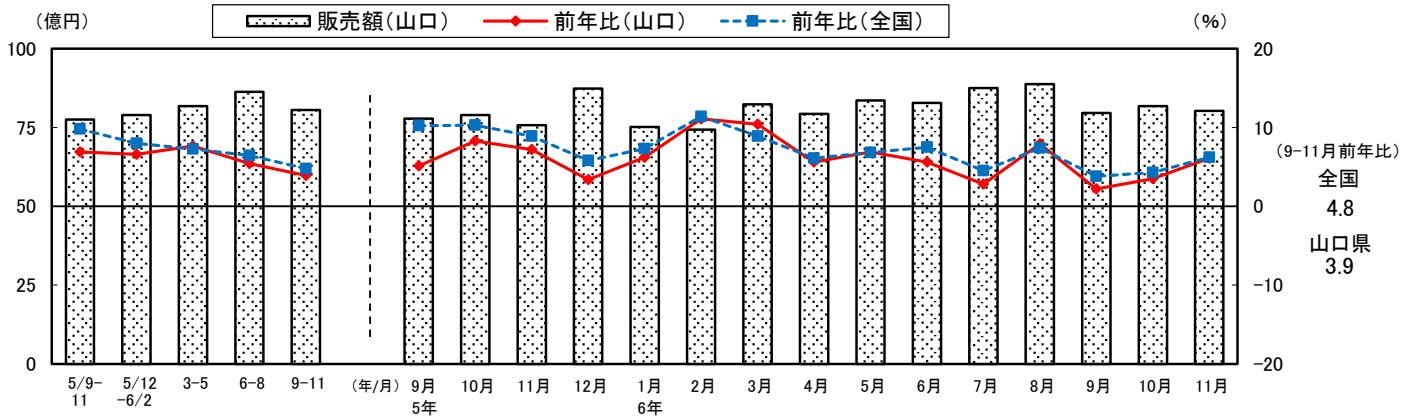
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)



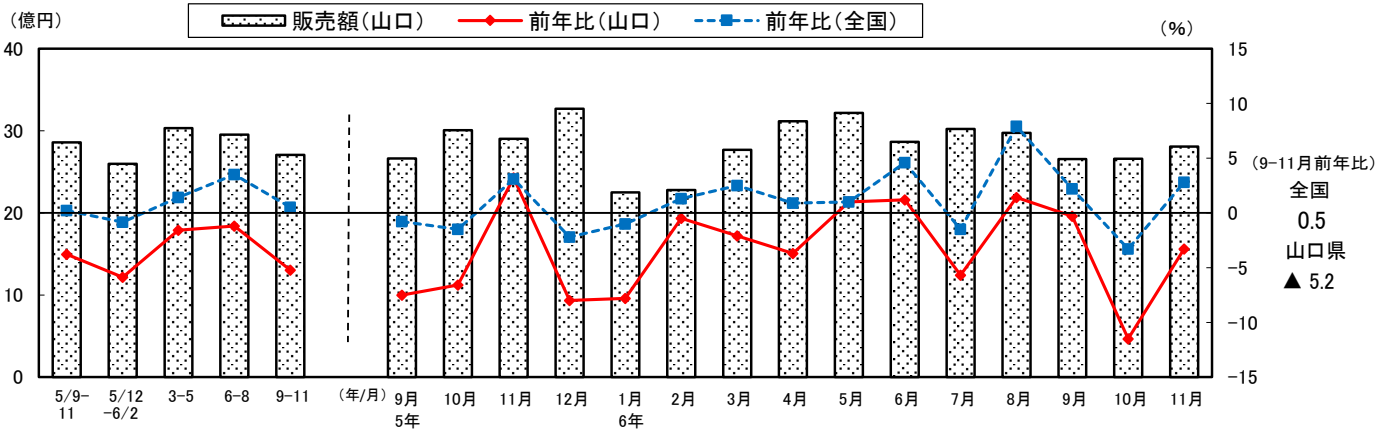
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



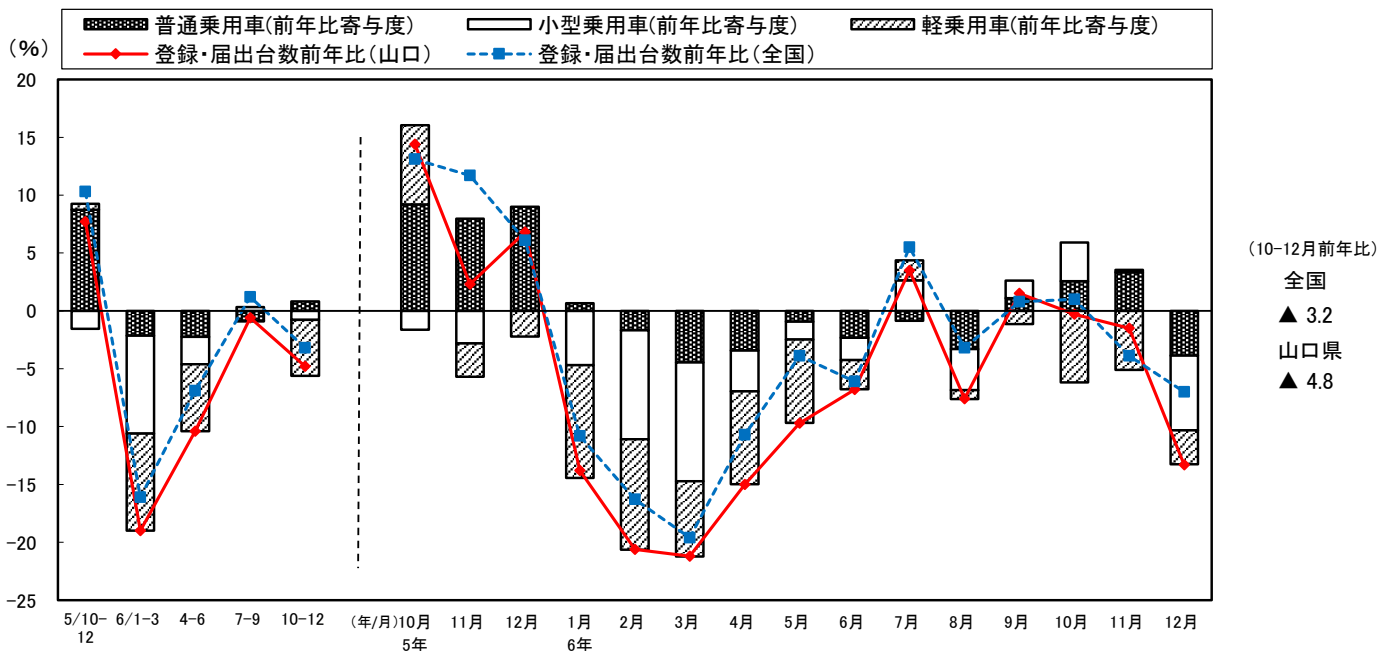
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

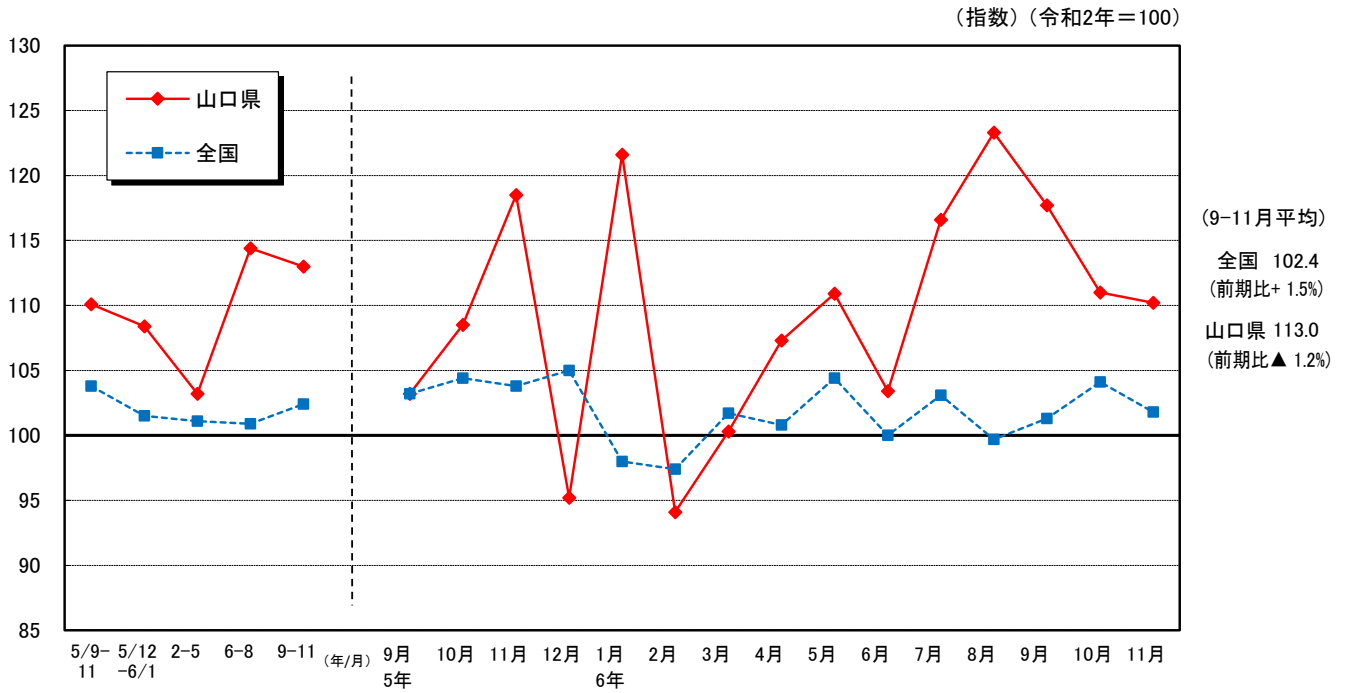
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



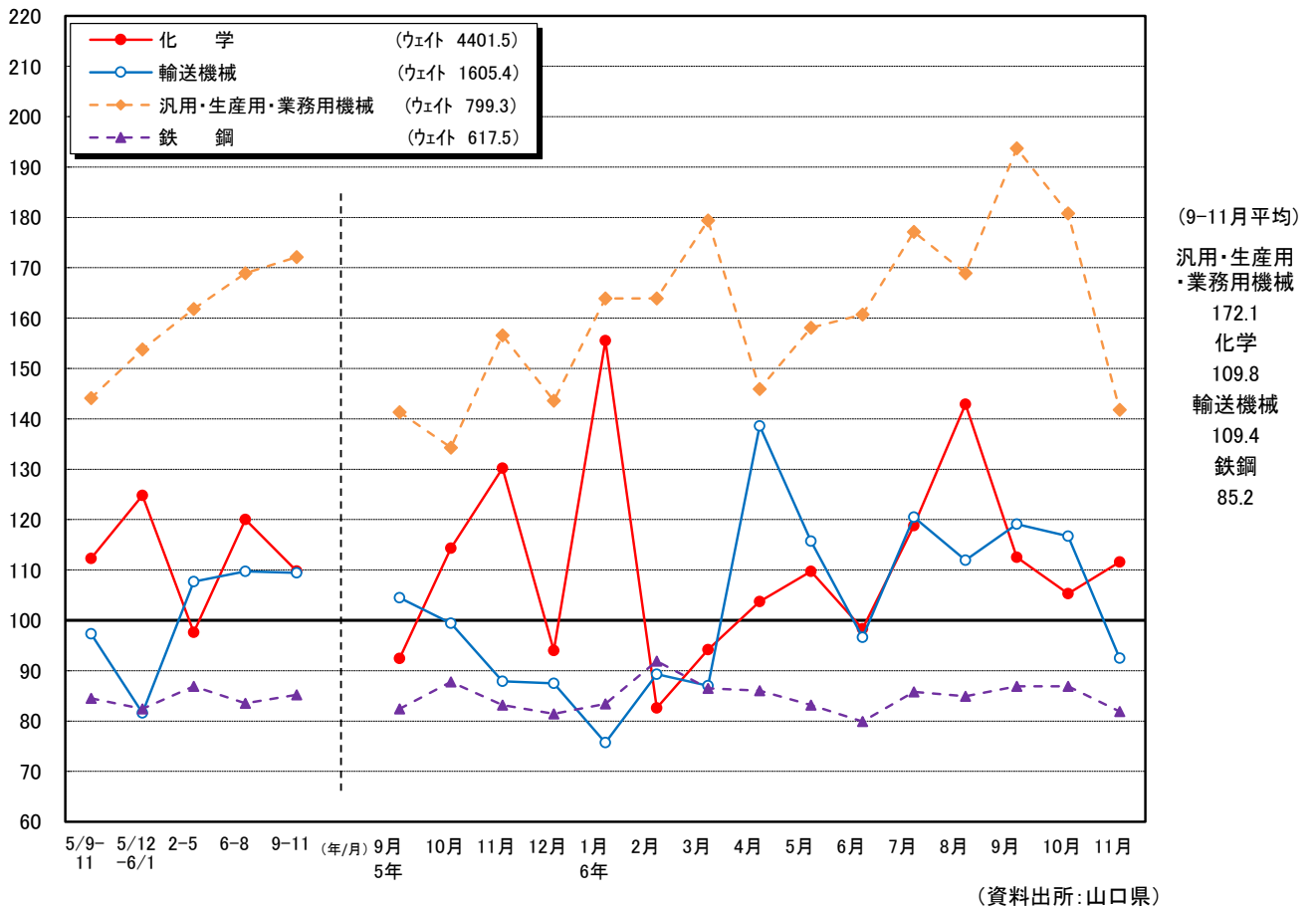
(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



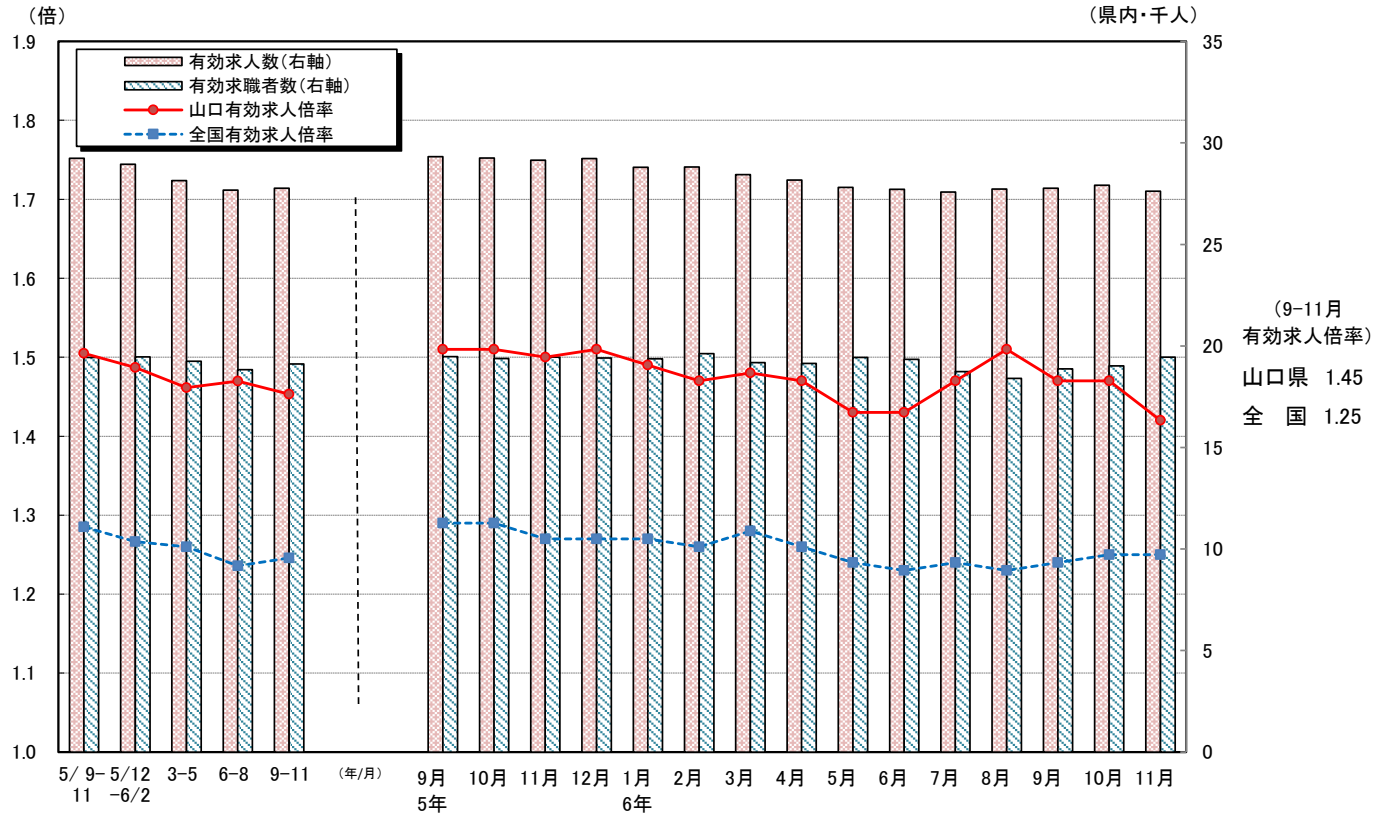
(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)



3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

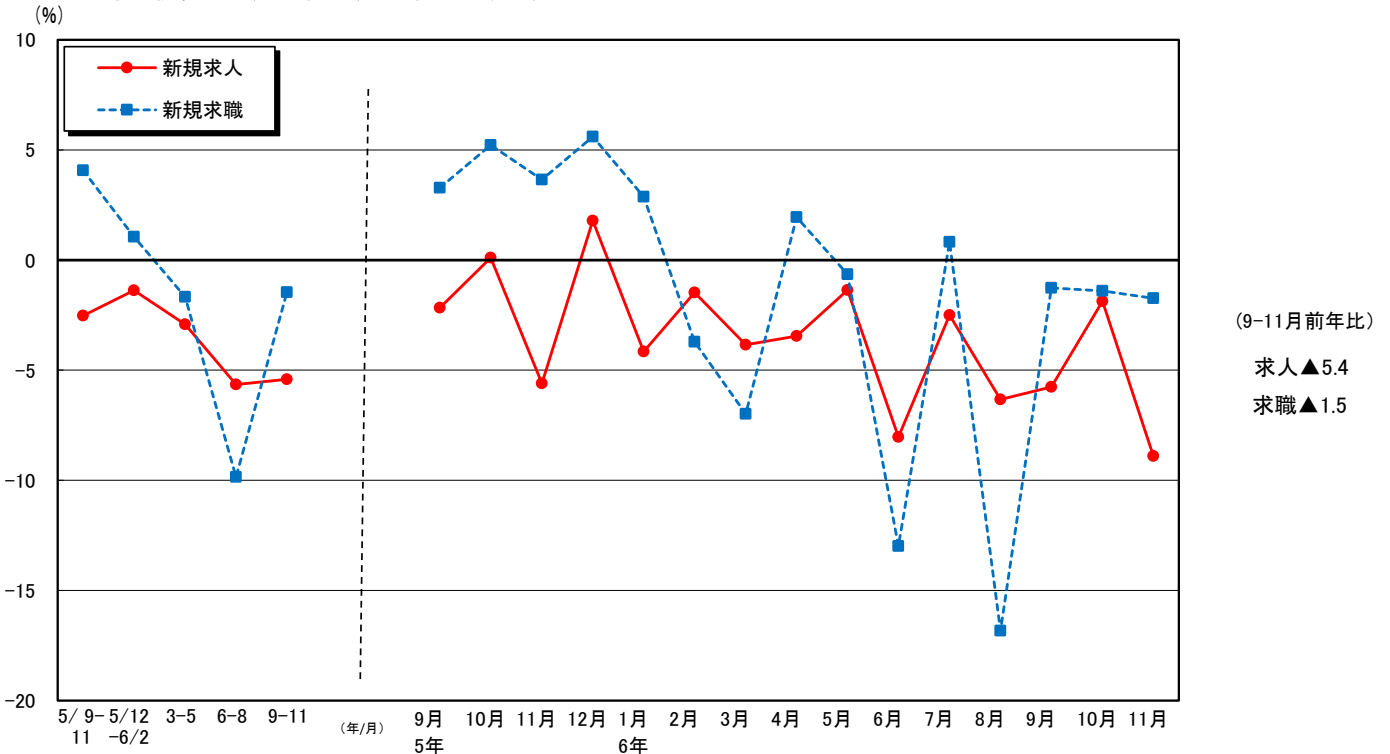
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示。

(1) 有効求人倍率、有効求人人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所: 厚生労働省、山口労働局)

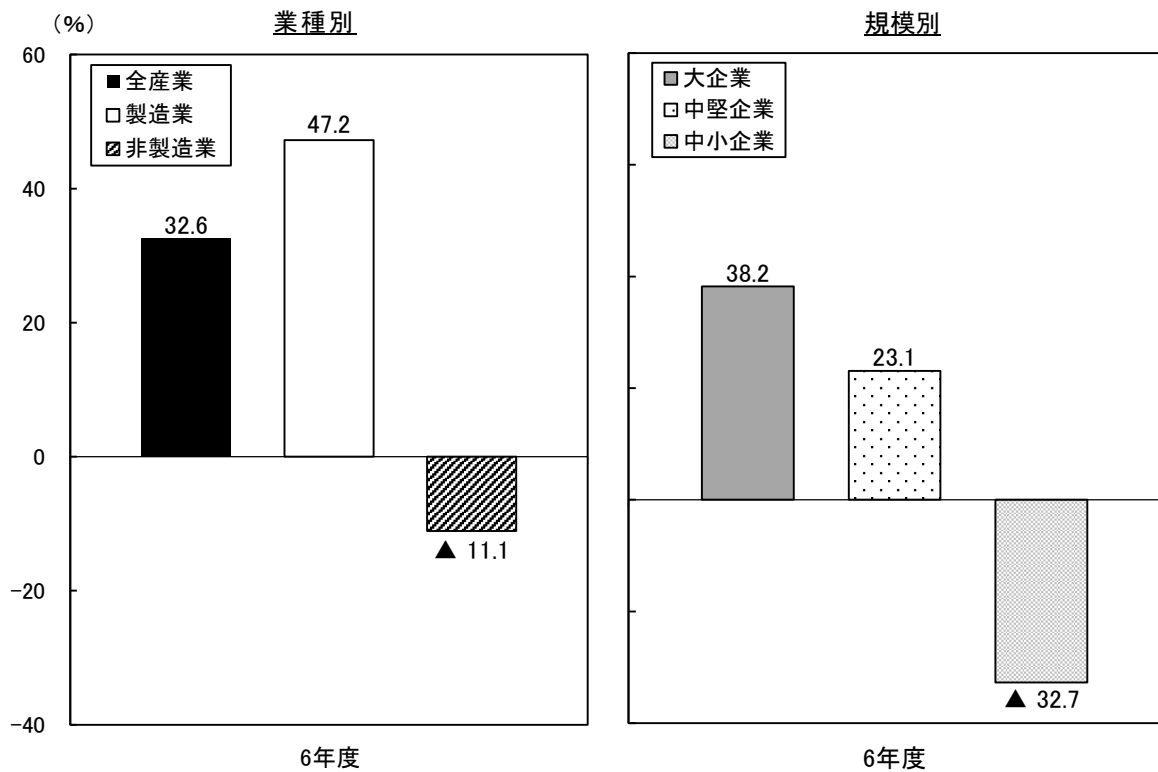
(2) 県内新規求人人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



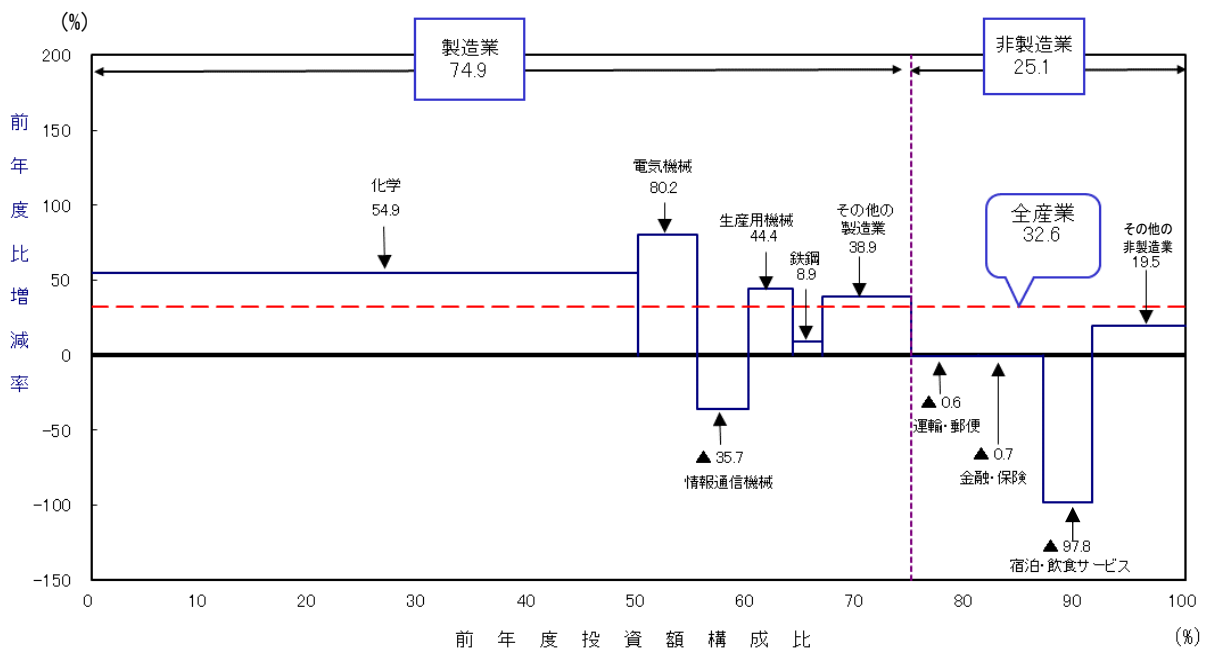
(資料出所: 山口労働局)

4. 設備投資 6年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資額(前年度比)



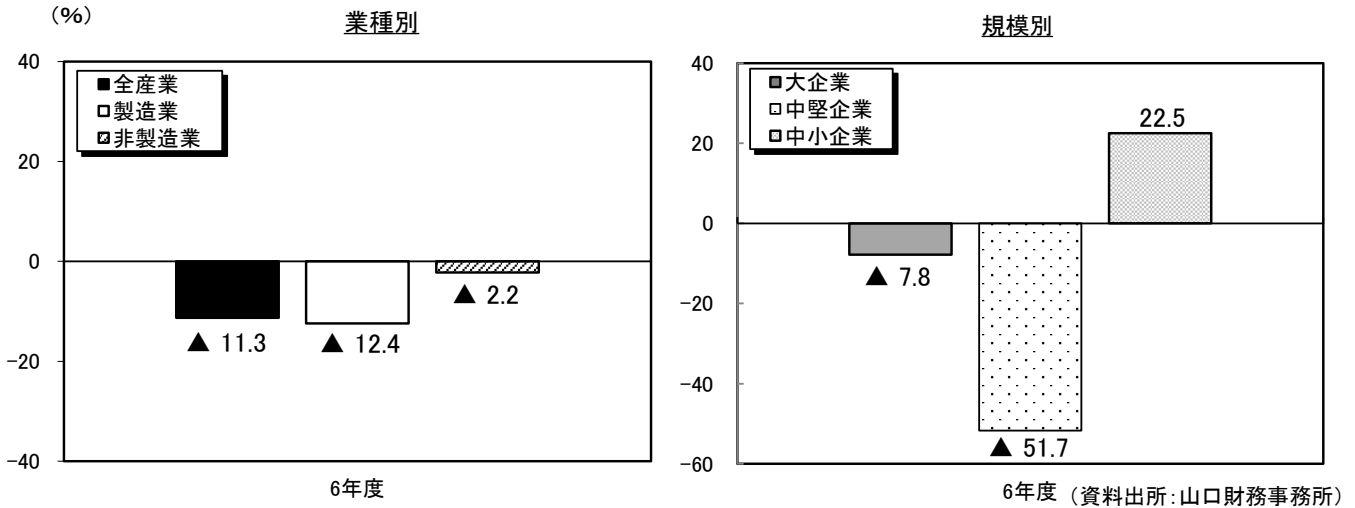
(2) 主要業種別(6年度)



(資料出所: 山口財務事務所)

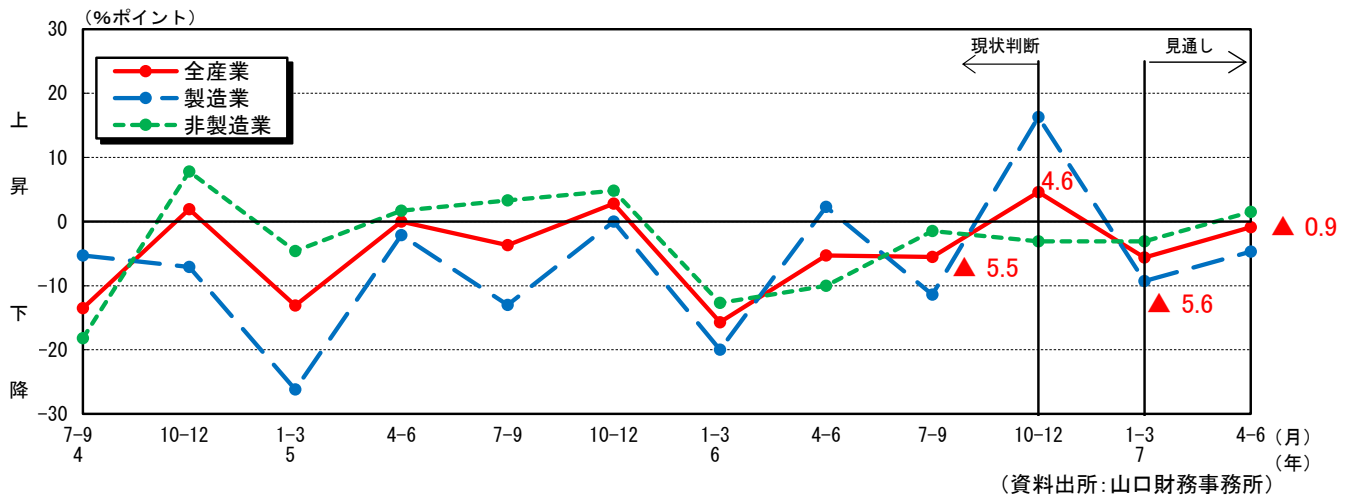
5. 企業収益 6年度は減益見込み

経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



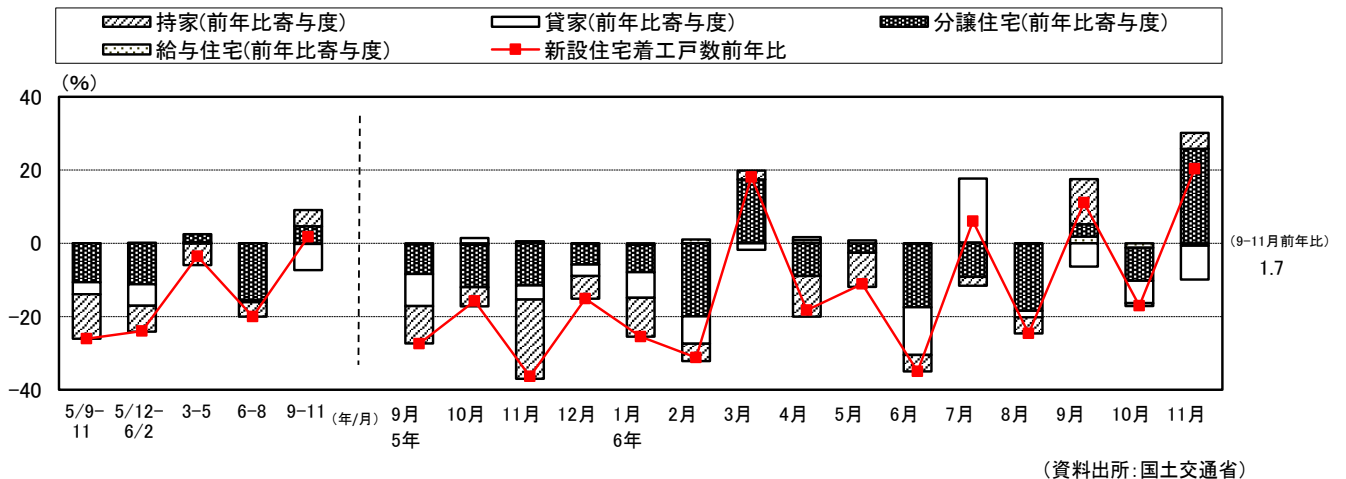
6. 企業の景況感 「上昇」超に転じる

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



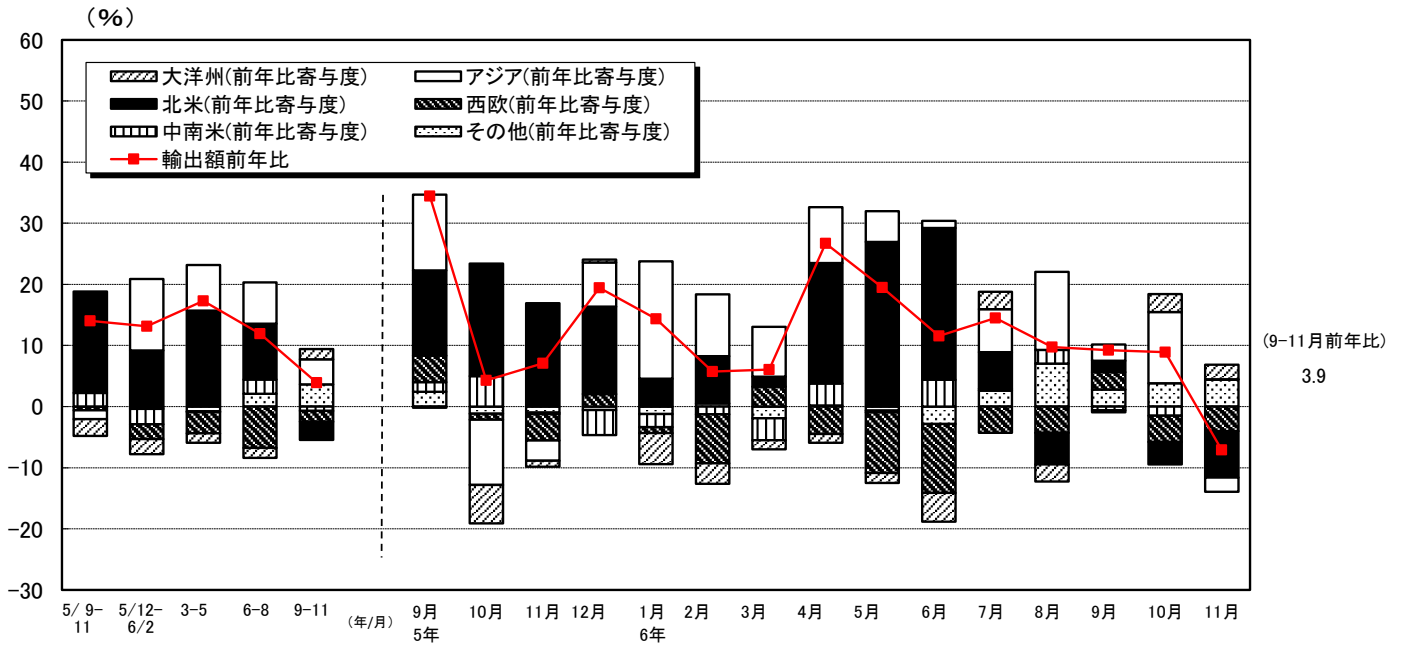
7. 住宅建設 前年を上回る

新設住宅着工戸数(前年比)



8. 輸出 前年を上回る

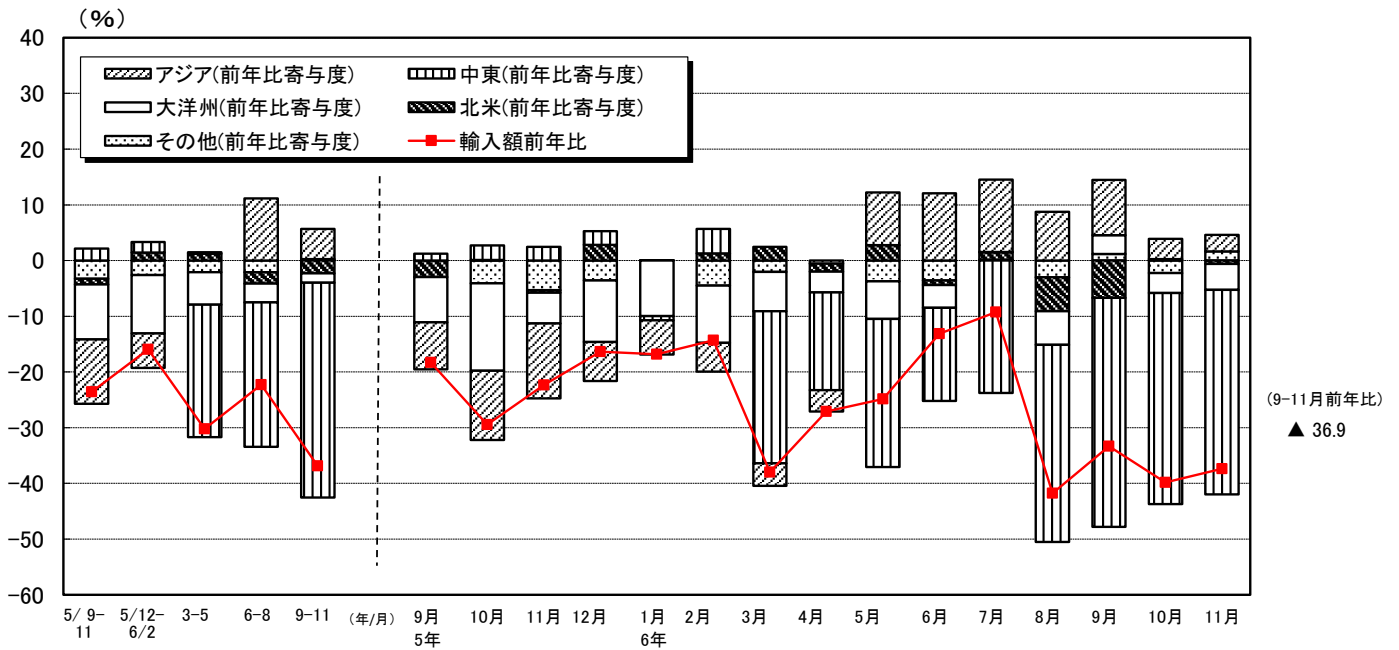
輸出(円ベース)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)

<参考>

輸入(円ベース)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)